

「日本産婦人科学会 周産期登録事業」について

加古川中央市民病院産婦人科は、日本産婦人科学会 周産期委員会の周産期登録事業に参加しております。内容については下記の通りとなっております。

尚、この研究についてご質問などございましたら、最後に記載しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

この研究では日本産婦人科学会が所属する施設で本事業の趣旨に賛同する登録加盟施設において、すべての出産された方々の母児および分娩に関連する医学情報をとりまとめ個人が特定できないように匿名化した情報を学会が収集いたします。本データベースを用いて学会あるいは研究者が様々な疾患、合併症あるは分娩事象に対する学術調査・研究を行うことのより新たな知見が得られ、周産期領域の医療の向上に寄与することを目的としています。

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

患者さんの診療録より下記データを収集いたします。

母体搬送例、妊娠回数と分娩回数、分娩時母体年齢、不妊治療例、分娩胎位、分娩方法、帝王切開率、分娩週数、出産体重
児性別、アプガール値、分娩時出血量、誘発促進分娩の有無、分娩時CTG異常の有無と異常の種類、母体疾患の内訳、母体脂肪の内訳、単胎、多胎の頻度、児の主要臨床死因別統計、登録施設別周産期統計、等

【個人情報保護の方法】

個人を特定できる情報は匿名化し学会へ送付し、さらに学会においてもコード化されます。また同時に送付元施設も学会ではコード化されます。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常診療の情報をを用いており、データをご提供いただいた患者さんの個人には特に利益になるようなことはございません。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため特にありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

患者さんを識別する情報を復元不可能な状態にして破棄されます。

【研究成果の公表について】

研究成果は学術目的のため論文や学会等で公表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

いつでも可能です。患者さんのデータを用いられたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータは本研究に用いることはありません。しかしながら同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように廃棄できない場合もあります。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 産婦人科
房 正規
連絡先：079-451-5500